

# 英米文化学会会報

第 83 号

平成 22 年 5 月 15 日



英米文化学会初代会長大島良行先生編著『アメリカ・ウェスタン辞典』(研究社 1981)によると大陸横断の速達郵送を担った Pony Express は「西部開拓史上最も魅力ある挿話のひとつ」。同書は「騎手は聖書を渡され、飲酒と悪口を禁じられた」と記す。かつて勇名を馳せた彼らの銅像の横を現代の大陸横断輸送を担う大型トレーラーが駆け抜ける(コロラド州ジュールズバーグにて 撮影:佐野)

## 目次

- ◆ 例会担当より 英米文化学会第 132 回例会・臨時総会のお知らせ
- ◆ 例会担当より 英米文化学会第 133 回例会(11 月開催)発表者募集
- ◆ 大会担当より 英米文化学会第 28 回大会(9 月開催)のお知らせ
- ◆ 分科会担当より 分科会報告
- ◆ 財務担当より 平成 22 年度年会費納入について
- ◆ 事務局より 会員消息

## ◆英米文化学会第 132 回例会・臨時総会のお知らせ

(例会担当理事: 田嶋倫雄)

日時: 平成 22 年 6 月 12 日(土)午後 3 時 00 分~6 時 00 分

午後 2 時 30 分受付開始

場所: 法政大学市ヶ谷キャンパス「外濠校舎」3 階 S301 教室 <地図は 4 頁>

交通: JR 総武線および東京メトロ有楽町線・南北線市ヶ谷駅・飯田橋駅徒歩 5 分、  
都営地下鉄新宿線・大江戸線市ヶ谷駅徒歩 5 分、東京メトロ東西線飯田橋駅徒歩 5 分

臨時総会会場: 「外濠校舎」3 階 S301 教室(例会に続いて臨時総会を開催します)

時間: 午後 5 時 30 分~5 時 50 分

懇親会会場：法政大学市ヶ谷キャンパス「55年館」2階 教職員食堂<地図は4頁>  
会費 2,000円 午後6時00分～8時30分 懇親会のみ参加も歓迎いたします。

## 開会挨拶

英米文化学会会長 小野昌（城西大学） (3:00)

## 研究発表

### 1. シャイロックの台詞における反復とその効果

(3:10—3:50)

発表 梅津篤（大東文化大学大学院）

司会 藤岡阿由未（明治大学）

### 2. ミックス法の可能性と課題 – 量的研究と質的研究の融合

(3:50—4:30)

発表 金子智香（茨城大学）

司会 森千佳子（東京純心女子大学）

発表者急病のため発表中止

————— 小休止(4:30—4:40) —————

### 3. Exploring cultural values through television commercials

(4:40—5:20)

発表 Robert J. Sigley（大東文化大学）

司会 北林光（大東文化大学）

## 閉会挨拶

英米文化学会理事長 佐藤治夫（日本大学） (5:20)

## 研究発表抄録

### 1. シャイロックの台詞における反復とその効果

梅津篤（大東文化大学大学院）

本研究ではシェイクスピアの喜劇『ヴェニスの商人』に登場するユダヤ人高利貸しシャイロックの台詞に見られる反復に焦点を当て、それが劇中どのような効果を生むのかを、それぞれの場面との関係更に物語全体との関係をとらえながら考察する。本研究で扱う反復とは同一語句や同一文法構造の繰り返しである。反復の多用はときに発話の未熟さを連想させ洗練された文体ではないと評価されることもあるが、本研究からはシャイロックの反復が戯曲中文体的にも物語を運ぶ上でも効果的に用いられていることがわかる。また反復は発話者の感情的要素と関係することがしばしば指摘されるが、第三幕第一場においてシャイロックが三千ダカットを貸したアントーニオの船が難破した知らせを聞いた直後、反復を多用し嘆きおよび怒りを伝えていることから反復が感情の高まりを表現するのに有効な手段であることが示唆される。

## 2. ミックス法の可能性と課題 – 量的研究と質的研究の融合 – 金子智香（茨城大学）

量的研究と質的研究の要素を組み合わせたミックス法が使用され、議論もされている。また、2007年には *Journal of Mixed Methods Research* が発刊され多くの論文が寄せられている。演繹法を用いる量的研究と、帰納法を用いる質的研究とでは、その前提となる理論、研究デザイン、研究手順において異なり、特に1970年代から1980年代には対峙するものだとみなされてきた。しかし今日では、単一の研究法にとらわれることなく、量的研究と質的研究の要素を必要に応じて取り入れることがそれぞれの学問分野の発展につながるという見解から、ミックス法の使用が見られるようになってきている。ところが、量的研究と質的研究の可能な組み合わせ形態が多種多様であるにもかかわらず、ミックス法を用いた研究の多くがアンケートと半構造的インタビューの組み合わせにとどまっているのが現実のようである。本研究では、この原因を考察することにより、現状のミックス法が抱える課題と今後の展望について論じる。

## 3. Exploring cultural values through television commercials Robert Sigley（大東文化大学）

Television commercials attempt to persuade their audience to behave in a particular way: most usually, to buy some brand of product. This is typically accomplished by associating the product, its use, and its users with positive attributes or outcomes, and/or associating non-use of the product (including use of competing products) with negative attributes or outcomes. As a result, commercials reflect value judgments on social behaviour, and therefore can serve as an important resource for identifying the attributes and behaviours that are regarded as positive characteristics marking "good" society members, or conversely, negative characteristics marking "bad" members. This is especially true of commercials for mass-market products that are not clearly distinguished from their competitors by any intrinsic quality or feature. As a demonstration, several such New Zealand commercials are analysed, resulting in identification of a consistent set of cultural values for "proper" New Zealand behaviour.

### ◆英米文化学会第 133 回例会（11 月開催）発表者募集

（例会担当理事：田嶋倫雄）

上記の例会（11月13日）の発表者を2名募集いたします。発表時間は30分です。発表のご希望者は、ご氏名と所属（勤務先）、研究発表題名と抄録をメールで、以下のメールアドレスにお送り下さい。締切日は9月13日、例会会場は日本大学歯学部（御茶ノ水）です。  
発表申し込み先：例会担当 田嶋倫雄 MichioTajima(at)SES-online.jp です。

第 132 回例会会場（法政大学市ヶ谷キャンパス富士見校舎敷地内の**外濠校舎**）

交通：JR 総武線、東京メトロ有楽町線・南北線市ヶ谷駅・飯田橋駅徒歩 5 分、都営地下鉄新宿線・大江戸線市ヶ谷駅徒歩 5 分、東京メトロ東西線飯田橋駅徒歩 5 分



例会会場は⑤の**外濠校舎** 3 階。正門⑦から入ると、ボアソナーダタワー⑥を正面に見て左手懇親会は①の **55 年館** 2 階教職員食堂。ボアソナーダタワー⑥の左隣。

## ◆英米文化学会第 28 回大会（9 月開催）のお知らせ

（大会担当理事：松谷明美）

日時：平成 22 年 9 月 11 日(土) 午前 9 時 30 分～

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス「外濠校舎」3 階 S306 教室<地図は 4 頁>

交通：JR 総武線および東京メトロ有楽町線・南北線市ヶ谷駅・飯田橋駅徒歩 5 分、  
都営地下鉄新宿線・大江戸線市ヶ谷駅徒歩 5 分、東京メトロ東西線飯田橋駅徒歩 5 分

<受付> 9:00 -

<会長挨拶> 9:30 - 会長 小野昌（城西大学）

<シンポジウム> 9:40 - 12:00  
「南北戦争とアメリカ文学 - それぞれの時代と視点から」

<研究発表第 1 部> 13:00 - 15:00

1. ジェイムス・ジョイスと脱近代 坂井竜太郎（千葉工業大学）
2. 『指輪物語』における Riders of Rohan - トールキンの理想の騎士像をめぐって -  
長谷川千春（鶴見大学大学院）
3. 革命という場、<クイア>な情景 - ジョージ・オーウェル『カタロニア賛歌』再考 -  
福西由実子（中央大学）

<研究発表第 2 部> 15:15 - 17:15

4. 「永続」と「純粹」  
- 19 世紀末から 20 世紀初頭のイギリスにおけるテンペラ技法の精神的意味 -  
堀川麗子（愛国学園大学）
5. D.H.ロレンスの伝記と研究の接点 川田伸道（同志社大学）
6. シェドーイングはリスニングのどの処理段階に効果を発揮するのか？  
中山誠一（城西大学）  
鈴木明夫（東洋大学）

<懇親会> 18:00 -

問い合わせ先：大会担当 松谷明美理事 AkemiMatsuya(at)ses-online.jp

<おことわり>

メールアドレスの表記については、@入りのメールアドレスを検索・流用して迷惑メールを送りつける悪質な業者が、昨今、多いようですので、「@」を「(at)」に置き換えて表記させていただいております。メール作成のときには、お手数とは存じますが(at)を@に置き換えてご送信いただきたくお願いいたします。

## ◆分科会報告

(分科会担当理事：須田理恵)

分科会：「植物と英文学」分科会

開催日時：4月24日（土）18時より

報告者：中垣恒太郎

題名：William Bartram とアメリカ・旅行・植物誌

概要：William Bartram (1739-1823)の旅行記 (*Travels through North and South Carolina, Georgia, East and West Florida, the Cherokee Country, etc.* 1791) を軸に、アメリカを探訪・探求しようとする試みが、いかにして植物・動物を含む博物誌への関心と密接に結びついていたのか、国家形成期の時代背景を参照しつつ考察する。

## ◆平成 22 年度年会費納入について (財務担当理事：山根正弘)

平成 22 年度年会費の郵便振替用紙を同封いたしました。なるべく早期にお納めくださいますようお願いいたします。すでに納入された方はご容赦下さい。便宜上、全会員にお送りしております。

なお、平成 21 年度以前の年会費が未納の方々も、この機会にご納入ください。納入状況は、山根正弘 MasahiroYamane(at)SES-online.jp に問い合わせ下さい。

年会費 : 5, 000 円

口座番号 : 00160-7-611777

加入者名 : 英米文化学会

## ◆事務局より 会員消息

(事務局担当理事：大東俊一)

### 省略

[おことわり] 今号では逝去された英米文化学会初代会長大島良行先生追悼号を予定していましたが、生前のご功勞に敬意を表し、当会の学術誌『英米文化』にて追悼特集を組ませて頂くこととなりました。何卒ご了承ください。

英米文化学会会報 第 83 号 編集／発行：英米文化学会 編集責任者：佐野潤一郎  
〒181-0012 東京都三鷹市上連雀 5-27-23

英米文化学会事務局 〒339-8539 さいたま市岩槻区馬込 1288 人間総合科学大学人間科学部 大東俊一研究室内  
Tel:048-749-6111(office), 03-5399-3395(home) E-mail:ShunichiDaito(at)SES-online.jp

年会費等振込先：郵便振替 加入者名 英米文化学会 口座番号 00160-7-611777

学会ホームページ <http://www.SES-online.jp/indexj.html>